

取扱説明書

FUJIFLEX

ディスプレイスタンド RFA-15

F-069-049-00

1. はじめに

この取扱説明書は、ディスプレイスタンド RFA-15(以下スタンド)の使用方法について説明します。

本製品は、重量6～15kgのモニターと組み合わせて使用します。モニターの使用方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

2. 表記の規則

△注意 回避しないと、作業者もしくは周囲の方に軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状況を説明します。

注意 回避しないと、機器の損傷を招く可能性がある危険な状況を説明します。

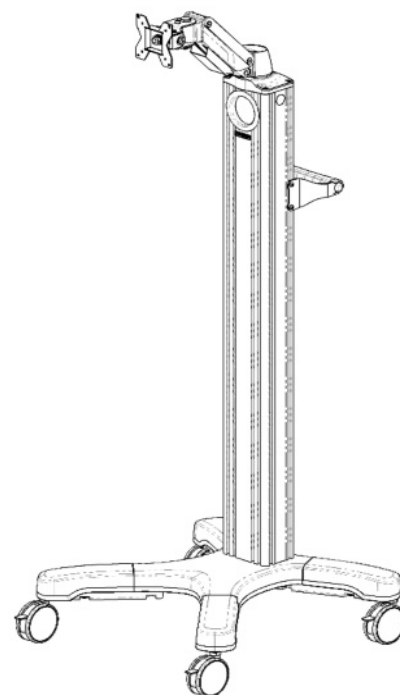
3. 安全についての大切なお知らせ

3.1 使用目的

本製品は、モニターの設置、移動、保管を目的としています。この目的以外には使用しないでください。

3.2 安全

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、充分理解されてから、指示に従ってご使用ください。



△ 注意

スタンドが転倒してケガをするおそれがあります。
支柱やモニター、ハンドル等に寄りかからないでください。

3.3 設置

モニターの落下を防止するため、次の注意事項をお守りください。

△ 注意

モニターが落下してケガをするおそれがあります。
モニターの取付け、取外し時はキャスターをロックして行ってください。
モニターの取付け、取外し時は必ず2人で作業してください。
モニターの取付け時は確実にねじの締め付けを行い、緩みがないか確認してください。

スタンドの破損や転倒によりケガをするおそれがあります。
ハンドルに過度な力を掛けないでください。

3.4 使用前の点検

不測の事態を回避し、機器の性能を十分に発揮してお使いいただくために、異音やぐらつきなどがないか、使用前の点検を行ってください。点検の結果、異常があった場合は使用せず、直ちに販売代理店にご連絡ください。

3.5 メンテナンス

長期間使用しておりますと、機器も傷んでまいります。6ヶ月に1度はねじのゆるみやキャスターの異常等、点検を行ってください。また機器の分解、改造は絶対に行わないでください。

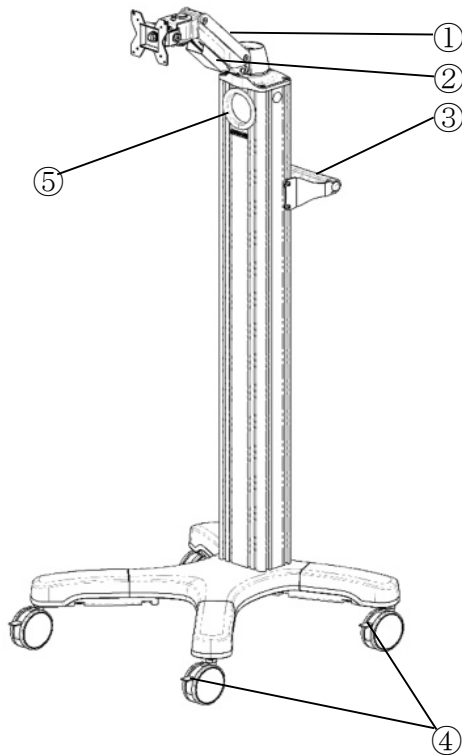
3.6 スタンドの移動

屋外を移動した場合にはキャスターに泥や砂等による異常がないか、ご確認ください。

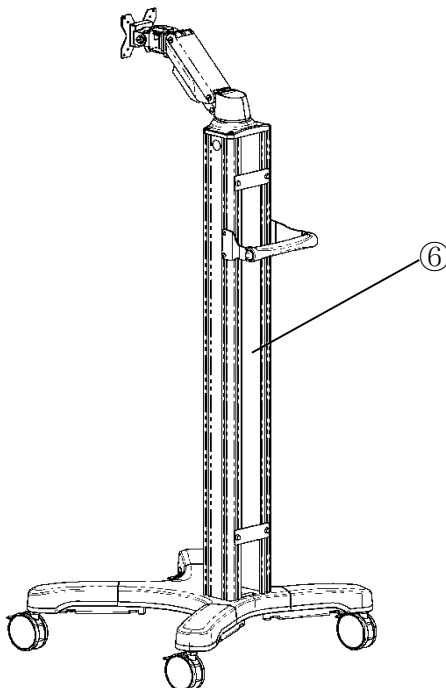
⚠ 注意

スタンドが転倒してケガをするおそれがあります。
段差がある場所での移動は2人で行ってください。
スロープでの移動は2人で行ってください。

4. 各部の名称と機能



- ①モニターアーム
モニターを取付けます。
モニターの許容荷重:6~15kg
- ②ケーブルカバー
モニターのケーブル類を通します。
- ③ハンドル
スタンドの移動・向き調整に使用します。
- ④キャスターロックレバー
キャスターの回転と軸の回転とをロックします。
- ⑤配線孔
モニターのケーブル類を通します。
※販売時期により、配線孔が無い製品があります。



- ⑥背面カバー
背面カバーは取外し可能で、支柱内側にモニターのケーブルを収納することが出来ます。

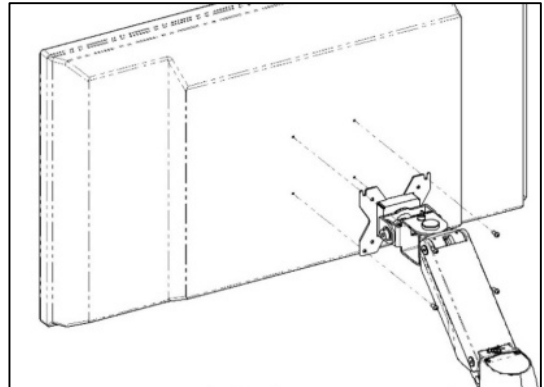
5. 仕様(諸元)

品名	ディスプレイスタンド RFA-15
型式	F-069-049-00
本体寸法	W:約636×D:約623×H:約1700mm
本体質量	40kg
モニター許容荷重	6～15kg
最大積載時質量	55kg

6. 使用方法

6.1 モニターの設置

VESA規格75×75mm/100×100mmに対応しています。
 ご使用されるモニター背面のねじ穴ピッチが75mmでも、
 100mmでもそのまま取付けできます。
 (ただし、75mmピッチでも取付面が凹んでいる場合、そのまま
 取付けができない場合がございます。)
 付属のM4×10ねじ、又はモニター付属のねじ4本を使用し、
 モニターを固定します。

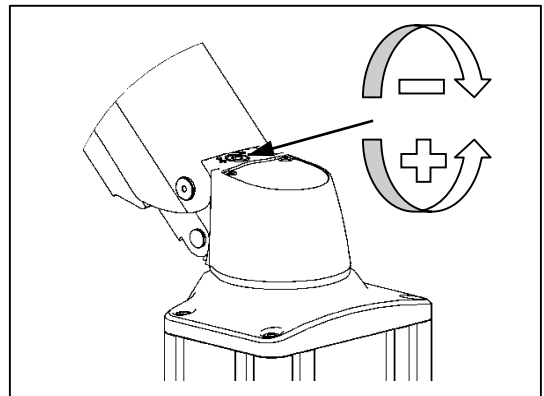


⚠ 注意

モニターが落下してケガをするおそれがあります。
 モニターの取付け、取外し時はキャスターをロックして行ってください。
 取付作業は必ず2人で行い、確実にねじを取付け、緩みがないか確認してください。

6.2 モニターアームの上下トルク調整

モニターの重量に合わせてアーム上下のトルク調整を行います。
 モニターが下がる場合には反時計回り、モニターが上がる
 場合には時計回りに付属の六角レンチで調整してくださ
 い。



注意

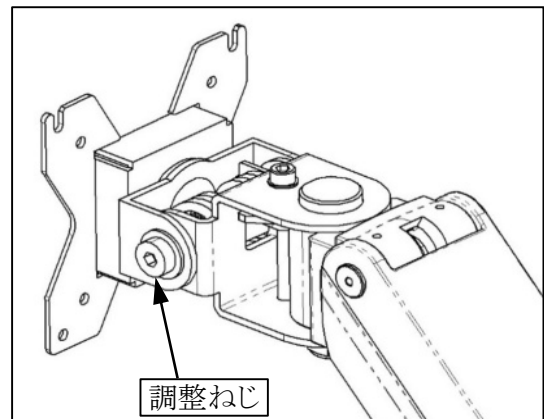
モニターアームが破損するおそれがあります。
 締め過ぎに注意してください。

6.3 モニターアームのチルト調整

取付けたモニターが下がる場合には、モニターの重量に合わ
 せてチルトのトルク調整を行います。
 調整ねじの締め付けを強くしてください。この時、左右の調節ね
 じの締め付けが均等になるよう注意してください。

注意

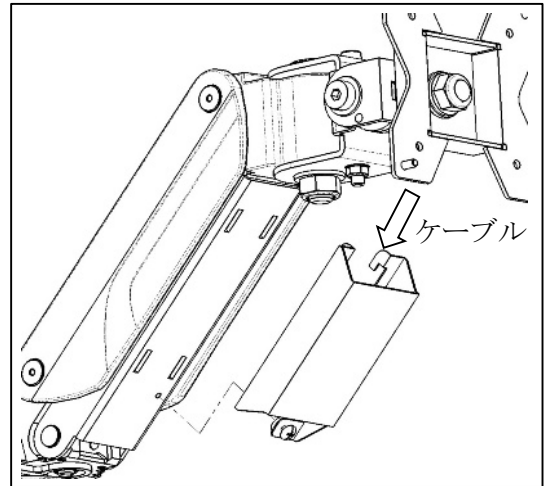
モニターアームが破損するおそれがあります。
 締め過ぎに注意してください。



6.4 ケーブル収納

ケーブルカバー内にケーブルを収納し、ケーブルカバーをモニターアームの角穴に爪で引っ掛けた後、ねじ(脱落防止機能付き)で固定します。

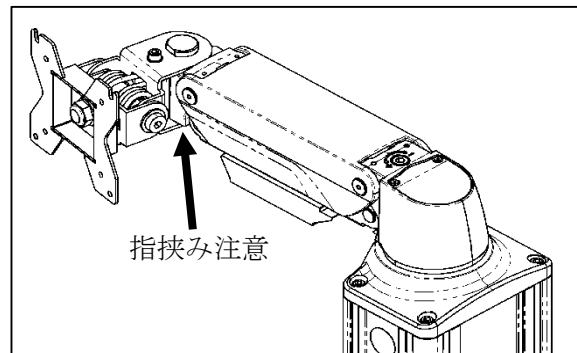
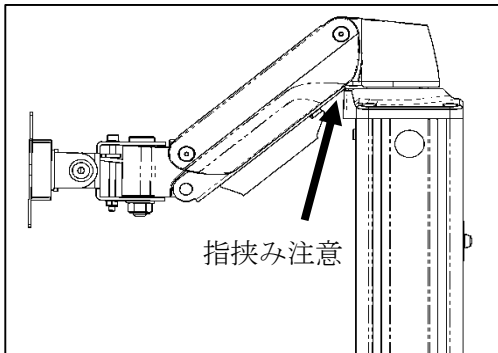
※ケーブルはアーム可動範囲を考慮し、余長を持たせた状態で取付けてください。



⚠ 注意

ケガをするおそれがあります。

軸近傍の隙間、及びチルト機構部に指等挟まないよう、注意してください。



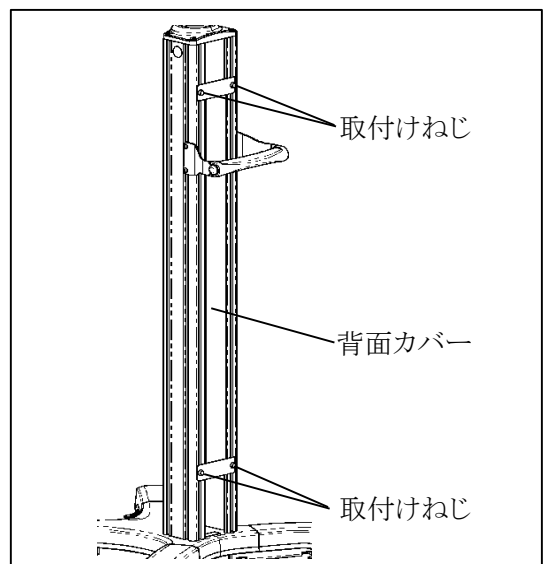
6.5 ケーブル収納

①背面カバーの脱着

モニターのカابل類は背面カバーを取外し、支柱内側に収納することが出来ます。

取付けねじを外し、ハンドルの下から背面カバーを引き抜くように外します。

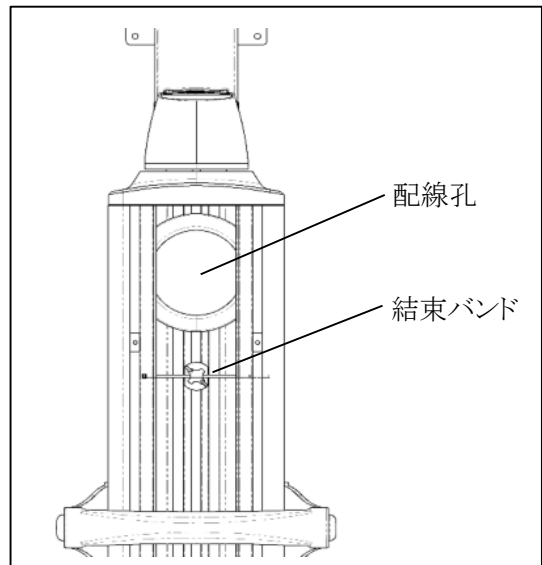
背面カバーを取付ける場合には、取外しと逆の手順で行ってください。



②配線孔

モニターのカابل類は配線校を通し、結束バンドで固定します。

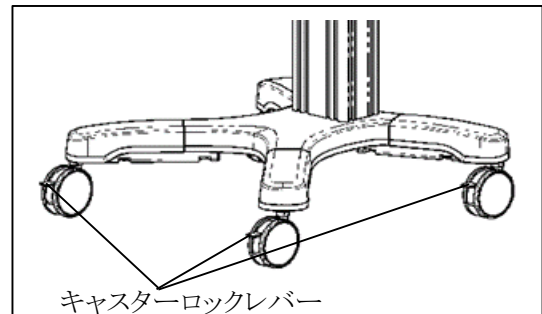
※販売時期により、配線孔、結束バンドが無い製品があります。



6.6 スタンドの固定

①全箇所のカスターロックレバーを下に押し固定します。カスターの回転と軸の回転との両方が固定されます。

②固定を解除する場合は、カスターロックレバーをはね上げてください。



⚠ 注意

スタンドが転倒してケガをするおそれがあります。
モニターの設置時、および使用時はスタンドのカスターをロックしてください。

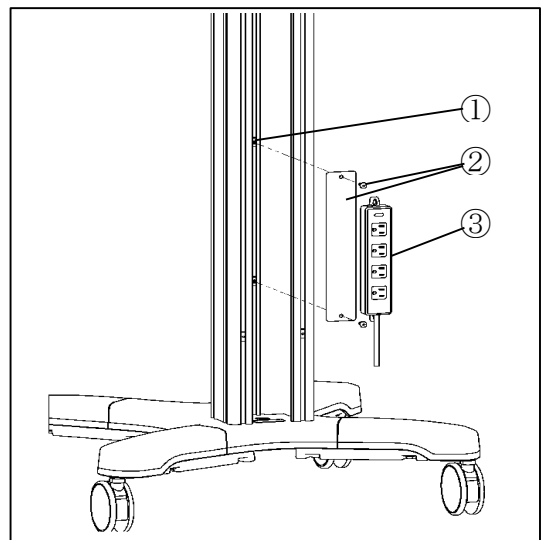
7. オプションの取付け

7.1 OAタップ

①背面カバーを取外し(6.5参照)、オプションに付属のナットを支柱のレールに入れます。

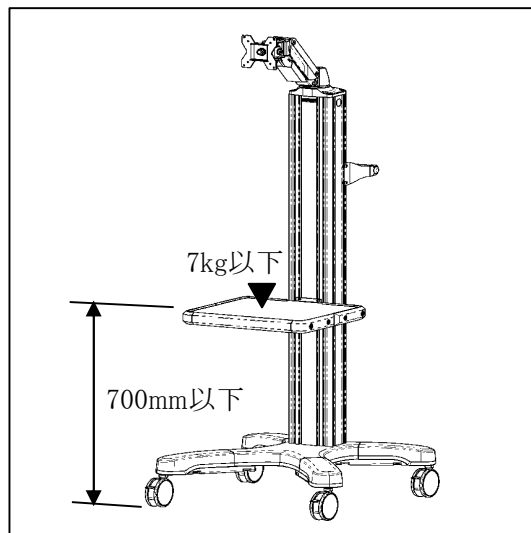
②プレートをオプションに付属のねじで固定します

③OAタップは磁石でプレートに貼り付ける事が出来ます。



7.2 棚板

- ①オプションに付属のナットを支柱前の内側2本のレールへ2個ずつ入れます。
- ②オプションに付属のねじで棚板を固定します。床面から棚板の天面までの高さが700mm以下になるよう位置を調整してください。



⚠ 注意

スタンドが転倒してケガをするおそれがあります。
棚板天面の高さは床面から700mm以下に調整してください。
棚板へ機器を搭載は最大7kgとしてください。
機器は棚板中央へ搭載し、端には寄せないでください。

8. 保管とメンテナンス

8.1 使用後のお手入れ

ほこりがたまったり汚れがついた場合には、ガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
汚れがひどいときや落ちにくい場合は、水で5～6倍に薄めた中性洗剤を少量湿らせたガーゼで、軽く拭いてください。

注意

スタンドの表面を有機溶剤で拭かないでください。
変質・変形の原因となります。
故障の原因となります。
指定された方法で、清掃を行ってください。
本体は流水洗浄や浸漬消毒をしないでください。
消毒、殺菌、滅菌は行わないでください。

8.2 保管方法

本製品は、高温多湿を避け、直射日光の当たらない所で保管してください。

注意

故障の原因となります。
保管条件に満たさない場所には保管しないでください。

8.3 メンテナンス

6ヶ月に1度はねじのゆるみやキャスターの異常等、点検を行ってください。

製造元 : 株式会社フジフレックス <http://www.fuji-flex.co.jp>

お問い合わせ先 : カスタマーサービス 〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1067番地25
TEL.0743-72-6788 FAX.0743-72-0388

ディスプレイスタンド RFA-15 取扱説明書 (第2版)
2024.10.30